

議員報酬 予算内改定は適当

伊豆

審議会 特別職は据え置き答申

伊豆市特別職報酬等審議会(山田健次会長)は11日、市議会議員の報酬について「総額が現行の議員報酬の予算額(年額約8500万円)を超えない範囲の改定であれば適当と認める」、市長など特別職の報酬は「据え置きすることが適当」と答申した。山田会長と飯田正志職務代理が市役所を訪れ、菊地豊市長に答申書を手渡した。審議会は8年ぶりで5月に諮問を受け、3回の会議を開いた。答申書では、継続する新型コロナウイルス感染症拡大、高騰する燃料費など物価上昇の影響が出ている中、依然として市内経済への打撃が続いているとの厳しい経済状況に触れ

た。その上で、仮に議員定数を現行16から2減らし14とした場合、議員報酬は3万円増の29万円になるとの一例も示した。山田会長は「総額を守った中で改定してほしい」と述べた。菊地市長は「厳粛に受け止めたい」と答申を尊重する考えを示した。

現行の特別職の給料

と議員報酬(いずれも月額)は、市長77万円、副市長65万円、教育長57万円、議長35万円、副議長29万円など。



答申書を菊地市長に手渡す山田会長(右)＝伊豆市役所